

“ヒラメキ”からはじまる
企業ストーリー

『未常識の発見——高品質を求め、国産に原点回帰した時計メーカー、株式会社ケンテックスジャパン』

文 牛久保洋次

text by Yoji Ushikubo

【未常識】今は常識ではない、でも未来に常識となる事：これは私が作った造語です。

私がレコードレンタル事業やデリバリーピザ事業で国内に約1200店舗（FC店舎）の新店を出店していた一昔前、「全世界で1万店舗」を目標として、海外進出にもチャレンジしていました。

残念ながらその夢は叶いませんでしたが、もともと日本人の気質や日本の文化に誇りを持ち、日本の持ち味を根底に事業を進めていけばよかったと、今となっては考えることがあります。

我々日本人が思っている以上に、日本人の「勤勉性」や「おもてなしの精神」、そして日本の技術力を駆使した「メイドインジャパン」の製品は評価が高いのです。

「企業」や「人」がどんどんグローバル化されていく中でも、日本人の良さ・らしさを忘れる事なく、失う事なく成長していきたいと切に願います。

今回は「高品質な時計を適正な価格で」をポリシーに、日本のモノ作りの力を結集した国産時計メーカーの【株式会社ケンテックスジャパン】をご紹介します。

現在では、国産時計メーカーとして確固たるポジ

ションを築いたケンテックスですが、当初は日本製にこだわっていた訳ではなく、海外で生産を行うなど様々なチャレンジを行ってきました。しかし20年以上におよぶ試行錯誤の結果、高品質と適正価格の実現は、日本で生産する純国産腕時計以外に成しえないという結論に到達したそうです。

加工精度を高め、高品質を維持する為には日本人が培ってきた熟練の技術が必要だったのです。製品の生産現場が労働賃金の低い海外へと移り変わっていく時代に逆行し、現在では企画・設計・組立を日本で行っています。

その飽くなき追求心によって、「陸」「海」「空」自衛隊のあらゆる過酷な状況下でも機能を失わない時計として「防衛省本部契約商品・JSDFWオウッチ」を開発するなど、欧州を中心としたラグジュアリーブランドとは一線を画す、国産腕時計メーカーとしての想いやこだわりが多くのファンの心を掴んでおられます。

今月の一言

高品質を求め、国産の原点回帰。
日本のモノ作りの未来を担う

これが則ち【未常識の発見】

Profile

慶應義塾大学商学部 卒業
株式会社友アンド愛（レコードレンタルビジネスの開発者）を創業し、代表取締役就任。約700店舗をFC展開する。株式会社ビザカリフォルニアを創業し、代表取締役就任。約400店舗をFC展開する。日本CDビデオレンタル商業組合 初代理事長（社）ニュービジネス協議会 理事等を歴任。
現在、株式会社いかしあい隊 会長、その他顧問数社。

